

予 算 特 別 委 員 会

● 質問者

- 鈴木 亮寛 (いばらき自民党)
- 宮崎 勇 (いばらき自民党)
- 齋藤 英彰 (民主 党)
- 西野 一 (いばらき自民党)
- 江田 隆記 (自民 県政クラブ)
- 神達 岳志 (いばらき自民党)
- 八島 功男 (公 明 党)
- 大内久美子 (日本共 産 党)
- 石井 邦一 (いばらき自民党)

鈴木亮寛委員 (自民) 　　みらい平地区においては、平成五年五月の事業認可より約二十年という歳月を経て、間もなく地区内の土地区画整理事業による造成工事などがおおむね完了し、近いうちに換地処分がなされる予定であると聞いている。こうしたことを踏まえ、今後のみらい平地区の土地分譲をどう進めていくのか。

企画部長 　　今後は、常磐道より西側エリアのまちづくりを進めていくことが大変重要であるため、民間のノウハウも活用した住宅街区の形成を図るとともに、商業・業務系をはじめ、生活利便施設などの誘致についても積極的に取り組んでいく。

(ほかに、郷土教育の推進、消防無線と指令センターの共同化計画なども質問)

宮崎勇委員 (自民) 　　喫煙は人の健康だけではなく、医療費の増大や労働力の損失などの社会的損失も大きい。喫煙者を減らし、県民の健康や財産を守るため、今後どのように禁煙対策を進めるのか。

保健福祉部長 　　新たに作成した「健康

いばらき21プラン」の中で、平成二十九年までに、喫煙率を現在より男性で11・6ポイント、女性で5・1ポイント減少させることを重点目標として設定した。マスメディアを活用した健康影響についての啓発の強化や、禁煙支援を行う相談機関をさらに増やすなどの体制整備を進め、目標達成に向けて取り組んでいく。

(ほかに、受動喫煙防止対策、看護職員の職場環境の充実も質問)

齋藤英彰委員 (民主) 　　地域の中核となる医療機関の施設整備への支援が重要であるが、日製日立総合病院の震災復旧支援や、北茨城市立総合病院と秦病院の建て替え支援への取り組みは、**保健福祉部長** 日製日立総合病院では耐震性を備えた新棟の建設を進めており、これまでも救命救急センターなどの整備を支援してきた。今後も本館棟の整備に対し、地域医療再生基金や耐震化基金を活用して補助を行い、早期復旧を図っていく。また、北茨城市立総合病院と秦病院についてもこれらの基金を活用し、適切な医療提供体制の早期確保を支援する。

(ほかに、児童虐待防止、茨城港日立港区の復旧状況と利活用展開なども質問)

西野一委員 (自民) 　　県産材の利活用の促進を図るためには、住宅市場のニーズを踏まえた優れた木材の安定供給に加え、子どもたちなど幅広い年齢層に木の良さをPRしていくことが大切であるが、どのように考えているか。

農林水産部長 　　県産材を使用した木造住宅建築への補助や学校での木製品導入支援のほか、森林林業体験学習での木工教室など、子どもの頃から木に親しむための取り組みを実施している。今後は、これらに加え、「いばキラTV」などで幅広い世代に木の良さや県産材を使うことの意義をPRしていく。

(ほかに、企業誘致の推進、茨城マル

シエの運営なども質問)

江田隆記委員 (自民) 　　つくば国際戦略総合特区の先導的プロジェクトを進めているBNCT※が実用化すれば、本県ががん治療のトップランナーとして、国内外にアピールでき、産業として展開していくことができる。BNCTの実用化に向けた今後の取り組みと知事の決意は。

知事 　　加速器の稼働、臨床実験、先進医療の承認を経て本格的な治療に入る計画である。特区制度を利用し、国と運用面での対応を協議しながらプロジェクトの円滑な推進を図る。BNCTは実用可能性、新産業創出の期待が高い。国内はもとより世界中に普及できるように取り組む。

(ほかに、ロボットスーツ治験事業、「ダヴィンチ」の導入なども質問)

神達岳志委員 (自民) 　　大型公共投資のための、いわゆる十五ヶ月予算の執行にあたっては、発注者が計画を立て、工事発注の過度な集中による建設業者や資機材の不足が生じないように、円滑な事業の執行を図るべきと考えるが、発注の平準化に向けた取り組みは。

土木部長 　　速やかに十五ヶ月予算の発注計画を策定し、計画的な早期発注に努めていく。年度途中においても、工事入札の不調・不発といった建設業者の受注状況などを踏まえ、随時発注計画を見直すなど、技術者や資機材の確保に配慮しながら、計画的な執行に努めていく。

(ほかに、スライド制度の活用、バイオマスの利活用推進なども質問)

八島功男委員 (公明) 　　将来負担比率の改善には、県債残高の縮減に加え、保有土地に係る将来負担見込額を含む、債務負担行為に基づく支出予定額や、出資法人などへの損失補償の削減が必要である。過去の負の遺産を迅速に整

理すべきだが、どのように財政健全化に取り組むのか。

知事 　　財政健全化には将来負担額の縮減が最も重要であり、県出資団体等調査特別委員会の提言を踏まえ、保有土地の対策前倒しと早期処分を進める。また、事務事業見直しなどの歳入削減、県税徴収率向上などの歳入確保と併せ、企業誘致や産業振興にも積極的に取り組む。

(ほかに、工業団地造成委託債務確定に係る譲渡債務、中小企業金融支援なども質問)

いばらき家の家計簿

平成25年度茨城県一般会計予算 (当初)

平成25年度の茨城県の当初予算を“家計簿”に例え、昨年度(平成24年度当初予算)と比較してみました

支出	収入
生活費……………368万円 <small>人件費、物件費 (△13)</small>	給与(基本給)……………368万円 <small>県税 (+6)</small>
医療・介護・教育費など…293万円 <small>扶助費、補助費等 (+10)</small>	給与(諸手当)……………221万円 <small>地方交付税など (△8)</small>
家の修復・防災対策など…136万円 <small>投資的経費、維持修繕費 (△8)</small>	パート収入……………25万円 <small>使用料・手数料など (-)</small>
子どもの事業への貸付など…132万円 <small>貸付金、繰出金 (△22)</small>	友人からの援助……………128万円 <small>国庫支出金 (+12)</small>
ローン返済……………145万円 <small>公債費(元金117万円、利子28万円) (+2)</small>	ローン借入……………148万円 <small>県債 (資産形成43万円、消費105万円) (△14)</small>
預金(子育て、健康等)……4万円 <small>積立金 (+1)</small>	預金引き出し……………49万円 <small>繰入金 (△5)</small>
合計……………1,078万円 <small>(△30)</small>	繰越金……………1万円 <small>前年度からの繰越金 (-)</small>
ローン残高……………2,083万円 <small>県債残高 (資産形成1,304万円、消費779万円) (+18)</small>	子どもの事業からの返済…138万円 <small>諸収入 (△21)</small>
連帯保証等(H23決算)……617万円 <small>債務負担予定額、公営企業・三セクへの負担、退職手当等の将来負担見込(対H22決算△33)</small>	合計……………1,078万円 <small>(△30)</small>
	普通預金残高……………16万円 <small>一般財源基金残高 (+8)</small>

平成25年度当初予算については [茨城県予算](#)

大内久美子委員 (共産) 　　東海第二発電所は運転開始から三十四年を経過し、老朽化に伴う危険が大きくなっている。知事は廃炉を断絶し、国と日本原子力発電に対し廃炉と廃炉管理を安全に行うよう要請すべきではないか。

知事 　　原子力規制委員会では、七月以降、新たな安全基準に基づき全国の発電所の安全審査を順次実施していくこととしているが、東海第二発電所は未

定であり、再稼働の判断はかなり先になると考えている。日本原子力発電の将来は、エネルギーのベストミックスを構築していく中で、国が考えていくべきであると思っている。

(ほかに、子ども医療費助成制度の拡充策、賃上げ促進策なども質問)

石井邦一委員 (自民) 　　救急医療情報コントロールセンターは、夜間などに診療可能な医療機関を案内しているが、医療機関に電話がつかない事例があった。県民が安心して医療を受ける体制を築くため現場の果たす機能や役割を確認する検証体制が必要では。

保健福祉部長 　　救急医療情報コントロールセンターの運営検証において県民への情報提供のあり方の検討を行うとともに、現場への抜き打ちの電話など現場の状況のチェック強化や委託先の茨城県メディカルセンターとの連携強化により、窓口の充実を図っていく。

(ほかに、農山漁村の維持確保対策、安心できる防災減災対策なども質問)

※【BNCT】…がん細胞に取り込まれたホウ素薬剤と小型加速器などから得られる中性子との反応を利用して、正常な細胞を傷つけることなく、がん細胞だけを選択的に破壊する新しいがんの治療法。